

令和 8 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 言語文化

教科: 国語 科目: 言語文化 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	A組 朝比奈 B組 河合 C組 朝比奈 D組 松井 E組 朝比奈 F組 朝比奈 G組 河合
使用教科書:	『高等学校 精選 言語文化』第一学習社

教科 国語 の目標:	<p>【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
------------	---

科目 言語文化 の目標:	<p>【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--------------	--

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数			
		話	書	読								
単元 5 漢文に親しむ 【知識及び技能】 古典の世界を楽しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 異なる時代に成立した説話を読み比べ、それらと比較して論じたり、批評したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 「狐借虎威」戦国策 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) デジタル便覧、インターネット	○	○	○	次 の 観 点 別 評 価 規 準 に 従 い 評 価 す る。 【知識及び技能】 古典の世界を楽しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 読むことにおいて、異なる時代に成立した説話を読み比べ、それらと比較して論じたり、批評したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	6			
	単元 6 古文の表現の工夫を考える 【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 「芥川」伊勢物語 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) デジタル便覧、インターネット	○	○	○	次 の 観 点 別 評 価 規 準 に 従 い 評 価 す る。 【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	6		
		定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説					○	○		1		
		単元 7 我が国最初の日記文学における表現方法を知る 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 「門出」『土佐日記』紀貫之 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) デジタル便覧、インターネット	○	○	○	次 の 観 点 別 評 価 規 準 に 従 い 評 価 す る。 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	6	
			単元 8 孔子の思想に学ぶ 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 作品の成立した時代や背景の関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 「論語」孔子 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) デジタル便覧、インターネット	○	○	○	次 の 観 点 別 評 価 規 準 に 従 い 評 価 す る。 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 読むことにおいて、作品の成立した時代や背景の関係を踏まえ、内容の解釈を深めることをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
				定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説					○	○		1

